



周防大島町地域公共交通計画



令和6年6月 変更

令和5年3月 周防大島町

目標③	陸上交通・海上交通の維持に係る行政負担の抑制	取り組む5つの方針				
	路線の見直しや統合、利用促進を進めることで、陸上交通・海上交通の維持のために負担している行政負担を抑制することを目指します。	①	②	③	④	⑤
評価指標	陸上交通・海上交通の維持に係る町の行政負担額					
算出方法 算出対象	● 陸上交通(路線バス、乗合タクシー奥畑線、町営バス、病院送迎バス、スクールバス)及び海上交通(町営渡船・行政連絡船)の維持に係る町の行政負担額の総和(いずれも決算額で集計)	現状値(R4)				
		陸上 102,659 千円 海上 17,956 千円				
目標値の 考え方	陸上交通では、利用者増による運賃収入の増加や、運行経路・車両の見直しに伴う効率化により行政負担額の軽減を目指します。 海上交通では、利用促進により行政負担額の軽減を目指します。	目標値(R9)				
		陸上 100,633 千円以下 海上 17,956 千円以下				
目標④	運賃収入の増加	取り組む5つの方針				
	路線の見直しや利用促進、運賃体系の見直しにより、町内の公共交通全体の運賃収入を増やしていくことを目指します。	①	②	③	④	⑤
評価指標	町内の公共交通の運賃収入の総和					
算出方法 算出対象	● 運賃収受を行う全ての公共交通(タクシー含む)の総和	現状値(R4)				
		94,652 千円				
目標値の 考え方	料金体系の見直しや交通ネットワークの改善による利用者増により、目標①を達成した場合の運賃収入以上を目指します。	目標値(R9)				
		107,605 千円以上				

陸上交通・海上交通の維持に係る行政負担の抑制		取り組む 5 つの方針				
目標③	路線の見直しや統合、利用促進を進めることで、陸上交通・海上交通の維持のために負担している行政負担を抑制することを目指します。	①	②	③	④	⑤
評価指標	陸上交通・海上交通の維持に係る町の行政負担額					
算出方法 算出対象	● 陸上交通(路線バス、乗合タクシー奥畑線、町営バス、病院送迎バス、スクールバス)及び海上交通(町営渡船・行政連絡船)の維持に係る町の行政負担額の総和(いずれも決算額で集計)	現状値(R4)				
		陸上 110,659 千円 海上 17,956 千円				
目標値の 考え方	陸上交通では、利用者増による運賃収入の増加や、運行経路・車両の見直しに伴う効率化により行政負担額の軽減を目指します。 海上交通では、利用促進により行政負担額の軽減を目指します。	目標値(R9)				
		陸上 109,002 千円以下 海上 17,956 千円以下				
評価指標	幹線系統の収支率					
算出方法 算出対象	● 事業者からの報告による 該当系統：大島本線、大島線 (両系統の「収入額の合計÷費用の合計」)	現状値(R6)				
		45.5%				
目標値の 考え方	行政負担の軽減により、幹線系統の収支率の向上を目指します。	目標値(R9)				
		46.5%以上				
運賃収入の増加		取り組む 5 つの方針				
目標④	路線の見直しや利用促進、運賃体系の見直しにより、町内の公共交通全体の運賃収入を増やしていくことを目指します。	①	②	③	④	⑤
評価指標	町内の公共交通の運賃収入の総和					
算出方法 算出対象	● 運賃収受を行う全ての公共交通(タクシー含む)の総和	現状値(R4)				
		95,479 千円				
目標値の 考え方	料金体系の見直しや交通ネットワークの改善による利用者増により、目標①を達成した場合の運賃収入以上を目指します。	目標値(R9)				
		108,618 千円以上				

目標⑤	二酸化炭素排出量の削減	取り組む5つの方針				
	陸上交通の路線や車両の見直しにより運行効率を高めることで、二酸化炭素排出量の削減を目指します。	①	②	③	④	⑤
評価指標	陸上交通の運行に際して排出される二酸化炭素排出量					
算出方法 算出対象	● 陸上交通(路線バス、乗合タクシー・奥畑線、町営バス、病院送迎バス、スクールバス)の年間走行キロ(車種別実車走行キロ)に車種別の二酸化炭素排出原単位 ^(※27) (台キロあたり)を乗じた総和	現状値(R4)				
		260,896kg				
目標値の 考え方	運行経路・車両の見直しに伴う効率化により、現状値以下の二酸化炭素排出量を目指します。	目標値(R9)				
		260,896kg 以下				
目標⑥	幹線系統の機能の確保	取り組む5つの方針				
	幹線交通が幹線機能を確保するため、系統別に利用者数を維持していくことを目指します。	①	②	③	④	⑤
評価指標	地域公共交通確保維持事業の地域間幹線系統補助を受けている路線の年間利用者数					
算出方法 算出対象	● 事業者からの報告による 該当系統：大島本線、大島線	現状値(R4)				
		大島本線 68,221 人 大島線 109,871 人				
目標値の 考え方	通学利用の確保や町民利用の増加により、総合計画の目標も踏まえた利用者数を目指します。	目標値(R9)				
		大島本線 73,686 人以上 大島線 110,843 人以上				

目標⑤	二酸化炭素排出量の削減	取り組む5つの方針				
	陸上交通の路線や車両の見直しにより運行効率を高めることで、二酸化炭素排出量の削減を目指します。	①	②	③	④	⑤
評価指標	陸上交通の運行に際して排出される二酸化炭素排出量					
算出方法 算出対象	● 陸上交通(路線バス、乗合タクシー奥畑線、町営バス、病院送迎バス、スクールバス)の年間走行キロ(車種別実車走行キロ)に車種別の二酸化炭素排出原単位 ^(※1) (台キロあたり)を乗じた総和	現状値(R4)				
		260,896kg				
目標値の 考え方	運行経路・車両の見直しに伴う効率化により、現状値以下の二酸化炭素排出量を目指します。	目標値(R9)				
		260,896kg 以下				
目標⑥	幹線系統の機能の確保	取り組む5つの方針				
	幹線交通が幹線機能を確保するため、系統別に利用者数を維持していくことを目指します。	①	②	③	④	⑤
評価指標	地域公共交通確保維持事業の地域間幹線系統補助を受けている路線の年間利用者数					
算出方法 算出対象	● 事業者からの報告による 該当系統：大島本線、大島線	現状値(R4)				
		大島本線 73,194 人 大島線 104,898 人				
目標値の 考え方	通学利用の確保や町民利用の増加により、総合計画の目標も踏まえた利用者数を目指します。	目標値(R9)				
		大島本線 78,659 人以上 大島線 105,870 人以上				

周防大島町地域公共交通計画

発行 周防大島町地域公共交通活性化協議会
（事務局：周防大島町産業建設環境部 商工観光課）
作成 令和 5年 3月
(令和 6年 6月変更)